

4 地球環境関係データ

■地球温暖化関係データ

■概要

(1) 大阪府域における温室効果ガス排出量の推移

府域における2006（平成18）年度の温室効果ガス排出量は5,572トンであり、1990（平成2）年度と比べ3.6%の減少、前年度と比べ3.1%の減少となっています。

また、2006年度の二酸化炭素排出量は5,356万トンであり、1990年度と比べ3.9%の増加、前年度と比べ2.2%の減少となっています。

(2) 大阪府域におけるエネルギー消費量の推移

府域の石油製品の販売量等から算定したエネルギー消費量は、1990（平成2）年度以降は、全体としては増加と減少を繰り返していますが、2006（平成18）年度は797PJ（PJ＝千兆ジュール）であり、1990年度と比べ2.6%の増加、前年度と比べ2.6%の減少となっています。

(3) 新エネルギー等の導入実績

府における新エネルギー等の導入実績（平成19年度）については、太陽光発電が7万kWであり、前年度と比べ、1.4万kW増加しています。また、天然ガス自動車やハイブリッド車などのクリーンエネルギー自動車が増加しています。また、廃棄物発電が18万kW（平成18年度実績）、天然ガスコージェネレーションが56万kWなどとなっています。

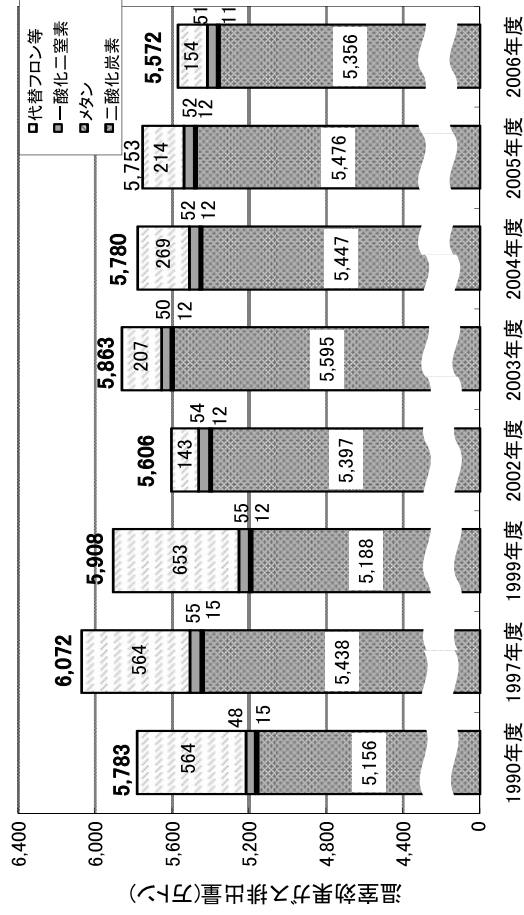
(4) 酸性雨

酸性雨（酸性沈着）には、湿性及び乾性沈着の両過程により、土壌、湖沼などの生態系に影響を及ぼします。府では府内市町村と共同して調査を継続実施するとともに、全国的な共同調査や東アジア酸性雨モニタリングネットワーク等に参画・協力しています。これまでの調査結果から酸性雨は、欧米と同レベルで推移しており、粒子状物質・ガス状物質などの乾性沈着についても今後とも注意して観測する必要があると見られます。

4-1 大阪府域における温室効果ガス排出量の推移（推計）

2006年度の温室効果ガス排出量は5,572万トンであり、1990年度と比べ3.6%の減少、前年度と比べ3.1%の減少となっています。また、2006年度の二酸化炭素排出量は5,356万トンであり、1990年度と比べ3.9%の増加、前年度と比べ2.2%の減少となっています。

大阪府域における温室効果ガス排出量の推移は、2003年度以降減少傾向となっています。



酸性雨関係係データ

4-4 大阪府酸性雨共同調査測定結果

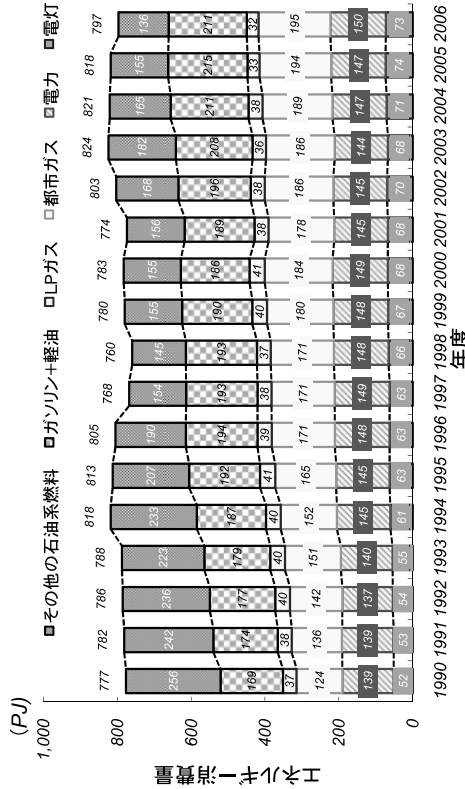
(平成19年度)

測定地点	梅雨期 (5/28-7/2)						秋期 (10/1-10/29)						
	降水量 mm	pH	導電率 mS/m	SO4 μmol/L	NO3 μmol/L	NH3 μmol/L	降水量 mm	pH	導電率 mS/m	SO4 μmol/L	NO3 μmol/L	NH3 μmol/L	Ca
	能勢町宿野	186.3	4.70	1.71	22.5	29.3	20.15	9.19	6.22	0.77	8.8	10.6	0.50
池田市畑	181.5	4.56	1.94	17.9	28.1	21.07	5.37	4.86	1.31	10.7	16.7	7.52	5.28
箕面市西小路	188.0	4.59	1.94	23.3	24.4	15.70	7.60	5.00	1.17	11.2	12.7	3.13	7.54
茨木市駅前	168.8	4.61	1.91	19.2	26.9	20.95	9.30	4.88	1.20	12.2	18.0	9.30	7.94
茨木市泉原	238.9	4.54	1.93	18.0	21.2	5.05	5.48	4.63	1.64	15.1	23.1	17.07	6.95
高槻市殿町	196.5	4.80	1.64	20.1	29.3	24.61	12.94	7.64	5.23	10.3	9.2	17.7	7.16
高槻市田能	200.6	4.75	1.13	14.6	18.4	18.94	4.73	86.6	4.89	0.99	7.8	13.2	7.66
豊中市野田	142.7	4.52	1.54	30.5	8.1	7.05	9.61	109.9	4.83	1.58	24.1	6.5	7.90
吹田市南吹田	144.9	4.90	1.42	25.8	8.0	16.60	12.62	119.4	5.35	1.02	15.9	1.4	2.88
摂津市三島	171.0	4.69	1.50	23.5	7.7	6.91	13.32	99.4	4.65	1.63	24.7	6.0	6.03
枚方市磯島	194.9	4.81	1.69	19.4	29.5	28.99	11.33	85.2	5.03	1.17	10.7	16.2	13.01
枚方市尊延寺	194.6	4.61	1.78	20.0	29.1	23.86	5.78	97.5	5.14	1.01	9.2	14.3	8.88
交野市私部	184.7	4.59	1.99	21.8	37.4	31.15	6.57	71.3	5.05	0.96	7.5	13.0	9.05
寝屋川市本町	129.9	4.70	1.62	17.2	27.0	19.85	7.01	121.7	4.65	1.63	12.6	16.9	8.99
守口市京阪本通	129.6	5.39	1.17	19.1	26.0	31.24	10.91	122.1	4.75	1.65	15.9	21.5	18.77
西条畷市中野	125.6	5.34	1.39	21.4	37.0	23.33	20.33	106.4	5.08	1.17	12.3	16.8	10.73
大東市谷川	142.0	4.64	1.94	19.8	31.5	28.89	8.63	99.5	4.69	1.82	16.8	22.5	20.35
東大阪市西岩田	144.7	4.97	1.42	20.4	26.3	38.20	10.60	83.3	5.01	1.15	14.1	21.1	20.90
東大阪市旭	143.3	4.87	1.61	21.9	31.9	41.50	13.00	85.2	4.79	1.32	13.3	20.9	19.40
大阪市東成区#	131.2	4.69	1.55	17.7	21.1	27.17	2.89	76.1	4.79	1.17	9.8	12.5	15.68
八尾市本町	152.3	4.84	1.62	20.0	28.2	32.13	9.19	100.8	5.06	1.28	13.7	18.4	15.34
堺市中区	141.4	5.10	1.25	15.9	23.6	28.84	9.50	116.9	5.20	1.18	10.0	20.2	16.40
高石市高師浜	138.2	4.95	1.44	20.7	28.7	32.22	9.97	138.2	4.63	1.93	17.4	22.5	20.86
藤井寺市岡	140.1	4.92	1.35	15.1	25.8	27.28	7.04	110.5	4.81	1.39	12.7	17.2	15.50
相原市安堂	130.9	5.92	1.26	19.1	28.6	45.12	9.51	86.0	4.62	1.73	14.6	17.2	0.23
相原市雁多尾畑	144.9	4.47	1.99	18.4	23.7	12.51	4.14	105.1	4.68	1.42	12.4	14.2	11.57
大阪狭山市狹山	153.8	4.71	1.57	17.6	24.1	17.14	9.20	136.0	4.83	1.49	14.7	21.2	21.08
河内長野市原	---	---	---	---	---	---	---	98.4	4.63	1.93	17.1	28.0	23.24
千早赤阪村千早	146.5	4.69	1.65	19.9	28.8	36.00	2.57	99.4	4.57	1.82	15.2	10.0	14.36
和泉市幸	130.6	4.68	1.85	23.0	36.2	34.91	8.88	106.7	4.74	1.82	16.6	26.9	19.57
岸和田市大沢	147.1	4.57	1.82	18.0	25.4	21.24	2.77	121.0	4.99	0.94	8.7	12.2	3.77
貝塚市富中	103.5	4.44	2.54	26.7	36.8	23.26	8.77	87.6	5.06	1.24	10.7	16.9	10.03
泉佐野市市場東	83.1	5.06	1.56	22.6	27.1	25.03	13.23	75.5	5.56	0.71	3.6	3.3	0.75
最 小	83.1	4.44	1.13	14.6	7.7	5.1	2.6	71.3	4.6	0.7	3.6	1.4	0.2
最 大	238.9	5.92	2.54	30.5	37.4	45.1	20.3	138.2	6.2	1.9	24.7	28.0	23.2
平 均	154.8	4.80	1.65	20.3	26.1	24.6	8.8	99.5	4.9	1.3	13.0	16.4	11.7

: 降雨時開放型自動採取装置による試料測定値

4-2 大阪府域におけるエネルギー消費量の推移

府域の石油製品の販売量等から算定したエネルギー消費量は、1990年度以降は、全体としては増加と減少をくり返していますが、2006年度は1990年度と比べ2.6%の増加、前年度と比べ2.6%の減少となっています。燃料の種類別では、電灯、都市ガスの伸びが特に大きく、1990年度と比べ、それぞれ40%、57%の増加となっている。ガソリン、軽油を含む石油系燃料は近年の製造部門における燃料転換等により、1990年度と比べ18%の減少となっています。



大阪府統計年鑑の油種別石油製品販売量等より作成。
(電灯及び電力は、1 Wh = 3,600Jとして換算)

4-3 府内の新エネルギー等の導入実績

(平成19年度末現在)

種 類	府内の導入実績
太陽光発電	7万kW
クリーンエネルギー自動車*(注)	2万7千台
廃棄物発電***(注)	18万kW (23施設、21工場)
廃棄物熱利用***(注)	熱供給0.6万kL (原油換算) (17施設、14工場)
温度差エネルギー**	自家利用 (48施設、38工場)
天然ガスコージェネレーション(注)	0.46万kL (原油換算)
燃料電池(注)	56万kW
	600 kW

* クリーンエネルギー自動車とは、電気自動車、ハイブリッド自動車、天然ガス自動車、燃料電池自動車をいう。
** は、平成18年度末現在
(注) 平成20年4月に政令が改正され、「クリーンエネルギー自動車」、「廃棄物発電」、「廃棄物熱利用」、「天然ガスコージェネレーション」、「燃料電池」は、新エネルギーの定義から外れている。